

東アジア市民 共生映画祭 2012

East Asia Citizen Coexistence Film Festival 2012

www.film.witheastasia.org

新自由主義の代案「Spain モンドラゴン協同組合」物語 公開!!

映画「クロッシング」「裸足の夢」キムテギョン監督 来熊!!



Now! Cross-border Cooperation
@ East Asia



台湾のアカデミー賞「金馬獎」受賞、映画「ピノイ サンデー」上映!!

10・27(土)

熊本市現代美術館

10・28(日)

熊本学園大学高橋ホール

EACCF2012

東アジア市民共生映画祭 2012 実行委員会

ASIANA AIRLINES



各キャンペーンも絶賛好評中!

☆1人当たり 5,000円 CASH BACK

対象: 熊本-ソウル線を往復利用される、熊本県在住の6名以上の団体

期間: 平成24年4月出発から、予算がなくなり次第終了いたします ※出発の14日前の申請が必要

☆阿蘇くまもと空港 駐車場無料キャンペーン

対象: 熊本-ソウル線を往復利用して、空港内駐車場に駐車する軽・普通車等

期間: 平成24年4月2日(月)~平成25年3月30日(土)の熊本出発まで

キャンペーンのお問合せ: 阿蘇くまもと国際線振興協議会事務局 TEL:096-333-2165

阿蘇くまもと空港 唯一の国際線

熊本→ソウル (便名 OZ141) 月(17:30→19:05) 木・土(12:00→13:35)

ソウル→熊本 (便名 OZ142) 月(15:10→16:30) 木・土(09:30→10:50)

<http://www.witheastasia.org>

東アジア共生珈琲

ヒマラヤの薫り

ネパールのコーヒー村と
九州の都市・村をつなぐ
共生のネットワーク

COFFEE1杯で、
ネパールの子どもと
ヒマラヤの自然を
守る!!



ヒマラヤの薫りコーヒー1杯が、ネパール **子どもの鉛筆** になり、

子どもの命 を救い、**ソーラーパネル** になります。

目次	3頁
企画メモ	4頁
上映 SCHEDULE	6頁
上映作品紹介Ⅰ 「スペイン モンドラゴンの奇跡」	7頁
上映作品紹介Ⅱ 「ピノイ サンデー」	8頁
上映作品紹介Ⅲ 「クロッシング」	9頁
上映作品紹介Ⅳ 「裸足の夢」	10頁
CINEMA TALK①：東アジア共生と協同組合	11頁
CINEMA TALK②：台湾・フィリピン・東アジアの多文化共生	12頁
CINEMA TALK③：東アジア共生の現実と夢	13頁
HISTORY	14頁

EACCF2012

東アジア市民共生映画祭 2012 実行委員会

主催：熊本市、熊本学園大学東アジア学科

主管：東アジア市民共生映画祭 2012 実行委員会

後援：NPO 法人東アジア共生文化センター、コムスタカ、グリーンコープ生協くまもと、NPO 法人環境ネットワークくまもと、菊池国際交流映画祭実行委員会、熊本県、(財)熊本市国際交流振興事業団、駐福岡韓国総領事館、韓国観光公社福岡支社、駐大阪韓国総領事館韓国文化院、熊本日日新聞社、NHK熊本放送局、熊本放送、熊本県民テレビ、熊本朝日放送、テレビ熊本、FM791、エフエム熊本、エフエム小国、ソーシャニティ(HP 制作)、ユンデルース(DESIGN) 等(順不同)

協賛：(株)丸菱、(株)ココストアウエスト、アジアナ航空(株)熊本支店、東アジア共生珈琲ヒマラヤの薫り、NHK エンターテインメント、太泰株式会社、Spring has come Ltd.、(株)ディプレックス、(株)DONGRAMY 等(順不同)

お問い合わせ：〒862-8680 熊本県熊本市中央区大江2丁目5番1号
熊本学園大学申研究室内 東アジア市民共生映画祭 2012 実行委員会

☎096-364-5162(内 1317)・Fax096-372-0702 www.film.witheastasia.org

【企画メモ】

揺れる東アジア共生の道角で歌う愛の歌

最近上映された映画『ダークナイトライズ』は、全世界の映画ファンたちの拍手喝采を受けながら、バットマンシリーズ映画三部作を完結させた。バットマンシリーズ全篇が全て烈火のような声援を受けたのだが、これは我々の社会が、危機から救ってくれる英雄を渴望するほど深刻な危機に陥っているということを反証している。英雄バットマンは深刻な経済的格差問題を解決するために都市自体を消滅させようとする勢力に立ち向かい英雄的に都市を救ってみせるが、彼が追求する慈善と福祉だけで今・ここの深刻な新自由主義の危機が解決され得るかは疑問である。

また他の映画『タイム』は、極端な格差社会の問題を解決するため、バットマンシリーズで示された「慈善と福祉」ではなく「Occupy Wall Street」方式を選ぶ。しかし「ウォール・ストリート」地域の銀行金庫から労働時間を盗み出すという義賊口ピンフッドのような方法で、今日のこの暴走する世界システムを変えるというのはほとんど絶望に近いといえよう。

国連が今年 2012 年を「協同組合の年」として宣布したのは、このような絶望から我々を救い出す一筋の希望として「協同組合」を選んだからではないだろうか。一人二人の英雄ではなく、慈善とテロではなく、普通の人々の一人一人が主となり、互いを信頼し協同しながら新しい世界を作り出す道こそが、新自由主義がもたらした格差問題を解決する唯一の代案だろう。今年 5 回目を迎える「東アジア市民共生映画祭」は、国連の定めた「協同組合の年」を迎え、『スペイン・モンドラゴンの奇跡』を上映することとした。スペイン・バスク地域を超えて、新自由主義が残した汎世界的な傷を癒してくれる代案として「モンドラゴン協同組合」が浮かび上がりつつあることが、地球の至る所から感知される。今の東アジアの経済的危機と格差問題を解決する代案としての「東アジア協働組合」をも思い浮かべることだろう。

「東アジアの多文化共生」を扱う予定のセッション 2 では、台湾映画でありながらフィリピンの俳優たちによるタガログ語が主たる言語である映画『ピノイ・サンデー』を上映する。マレーシア出身、主に台湾で活躍する監督が日本 NHK 等の支援を受けて制作した、言葉通りの「東アジア市民」映画である。「ソファ」を通して象徴される安らぎと幸福、或いは移住への欲望は国境の向こうに確かに存在するのかが映画は問いかける。フィリピンからソファを奪っていったのはもしかすると、彼らの移住先である台湾や日本や韓国かもしれない。映画の中のフィリピン漁村との共生ネットワークへの夢も膨らむ。

セッション3「東アジア共生を眺める韓国の視線」では、映画『火山高』『オオカミの誘惑』等で有名なキム・テギユン監督をご招待し、脱北を描いた映画『クロッシング』と、東ティモールの子供たちのサッカーの話を描いた映画『裸足の夢』を上映する。

映画『クロッシング』は、北朝鮮の無垢な笑顔の子供と父の悲しい物語を通じて、国家とそこに住んでいる人々を同一視してはいけないうこと、そこに住んでいる子供たちもまた「東アジアの市民」として共に生きていかなければならない大切な存在であることを、我々に教えてくれる。そのような意味で、北朝鮮の子供たちは東ティモールの子供たちに重なる。

韓国の無名サッカー監督と日本と韓国のサポーターたちはその子供たちの夢に生命力を吹き込んでくれ、子供たちは彼らの愛に応えて遂に美しい花を咲かせた。我々の知らない間に、今も東アジアのどこかではまた他の子供達が我々に手を差し出しとびきりの笑顔で立っている。映画は映画ではない。

揺れる東アジア共生の道角、映画はもうひとつの愛の言語を聞かせてくれる。

東アジア市民共生映画祭 2012 実行委員長



【協力】 横澤泰夫、田中節子、李珊、盧善影、盧恩明、中島眞一郎、高木久夫、佐久間順子、平本早余子、中地重晴、宮北隆志、藤原義嗣、金泰鉉、外浦誠司、青木優子、江藤勝彦、桜井暢子、浦川登久恵、野口なごみ、金成国、宋尚倫、柴田さおり、佐藤勇治、野田耕司、裴丁銀、塚本美由紀、辛教燦、申明直

【学生 STAFF】

【総括】 森口樹生、岩井聖香、田中俊、椎原真子、岩下綾、池田瀬那、本田未来、中村美咲、園田早織、川島絢、馬場あい、安東慶

【公演】 下山未来、久保田花苗、池水朋佳、山田莉彩、田畑美紗貴、橋本侑希、竹平まりの、川越舞子、下木屋ゆうみ、大野舞子、金栄雨

【広報】 山内唯、小糸加那、平嶋奈津美、坂本明加、橋本葵、島一実

【映像】 關隆行、小西史織、島津直希、田尻彩、木村美月、長野美里、下村春菜、青山憲武、米満大起、佐藤優、瀬口未希、宮城朱里、全韓植、蔡熙眞（他）

【10月27日(土)】

Session1 : 東アジアと協同組合	
12:30	開場
13:00~13:30	Opening Ceremony
13:30~14:20	ドキュメンタリー映画(開幕作品) 上映 : 「スペイン モンドラゴンの奇跡 (스페인 몬드라곤의 기적)」
14:20~15:00	【シネマトーク①】 : 東アジア共生と協同組合 ゲスト: リュ・ジヨルPD 招待 パネラー: 金 鉉東 (韓国の社会的企業「バリの夢」代表) 佐々木 郁江(グリーンコープ生協くまもと福祉委員長)
15:00~15:30	休憩
Session2 : 東アジアの多文化共生	
15:30~17:00	映画「ピノイ サンデー(Pinoy Sunday)」上映
17:00~17:20	【シネマトーク②】 : 台湾・フィリピン・東アジアの多文化共生 ゲスト: 横澤 泰夫 (前NHK香港駐在特派員・熊本学園大学教授) パネラー: 東 アンナマリエ ニヒト (在住熊本フィリピン人) 王 一萍 (熊本学園大学大学院生・中国人留学生)
17:20~17:40	休憩
17:40~19:40	映画「裸足の夢 (맨발의 꿈)」上映

【10月28日(日)】

10:00	開場
10:30~12:00	映画「ピノイ サンデー(Pinoy Sunday)」上映
12:00~13:00	昼食・Coffee Break (共生珈琲ヒマラヤの薫り)
Session3 : 東アジア共生を眺める韓国の視線	
13:00~15:00	映画「クロッシング (크로싱)」上映
15:00~15:30	お祝い公演・Coffee Break (共生珈琲ヒマラヤの薫り)
15:30~17:30	映画「裸足の夢 (맨발의 꿈)」上映
17:30~18:10	【シネマトーク③】 : 東アジア共生の現実と夢 ゲスト: キム・テギユン監督 (「クロッシング」・「裸足の夢」) パネラー: 中地 重晴 (熊本学園大学 社会福祉学部 教授) 金 鉉東 (韓国の社会的企業「バリの夢」代表)

「スペイン モンドラゴンの奇跡」 (50分)

“The Miracle of MONDRAGON in Spain (스페인 몬드라곤의 기적)”

韓国、2011年

リュ・ジヨル (류지열) PD www.film.witheastasia.org/dragon/



2008年再びの金融危機を迎えた世界経済。多くの企業が一時解雇を敢行する中で、唯一人の解雇も無く、安定的に成長している企業がある。

サッカー名門「FCバルセロナ」も協同組合の形態で運営されている。

スペイン・バスク地方の「モンドラゴン協同組合企業(Mondragon Corporation)」である。スペイン9位の企業モンドラゴンの奇跡の秘密は一体何だろうか。



モンドラゴンを学ぶために世界各地から、モンドラゴンを訪れる人々。協同組合企業は、果たして、労使紛争と一時解雇、非正規職労働問題など、様々な危機に巻き込まれている株式会社の代案となりうるか。



「ピノイ サンデー」(85分)

“Pinoy Sunday (台北星期天)”

台湾・日本・フィリピン・フランス、2009年、

ホー・ウィ・ディン (何蔚庭 HO・WI DING) 監督。 <http://pinoysunday.com>

キャスト：BAYANI AGABAYANI (Dado役)、EPY QUIZON (Manuel役)、
ALESSANDRA DE ROSSI (Cessilia役)、MERYLL SORIANO (ANNA役)



何蔚庭 監督：マレーシア出身で、ニューヨーク大学の芸術学部で学ぶ。2008年のカンヌ映画祭で『Summer Afternoon』(短編)にて多くの関心を集めた。現在台北をベースに活躍。映画「ピノイ サンデー」で、「金馬奨 (台湾のアカデミー賞)」の2010新人監督賞受賞。

台北に暮らすフィリピン人出稼ぎ労働者たち。故国や家族と離れ、寂しい気持ちを抱えて働いている。ダドとマヌエルもそうした労働者の仲間だ。

フィリピン人たちの何よりの楽しみは日曜日の教会ミサ。そこは異国でありながらもフィリピンのようだ。多くの同胞と会えるし、残してきた家族へ荷物も送れる。そして新しい出会いも。

ある日曜日、ダドとマヌエルは道ばたに捨てられたソファを見つけ、工場の寮まで運ぼうと考える。二人は門限までに無事に帰れるのか。「pinoy」はフィリピン人男性の意味。



「クロッシング」(112分)

“CROSSING (크로싱)”

韓国、2008年

キム・テギユン (김태균) 監督

<http://www.crossing-movie.jp/>



「火山高」「オオカミの誘惑」のキム・テギユン監督が、脱北者の過酷な現実を描く社会派ドラマ。

北朝鮮の炭鉱町に住む元サッカー選手のヨンスは、妻ヨンハと11歳の息子ジュニとともに、貧しいながらも幸せな日々を送っていた。しかし、ある日ヨンハが肺結核に倒れ、ヨンスは治療薬を手に入れるため中国へ向かう。

決死の覚悟で国境を越えたヨンスは、必死に働いて薬を手に入れようとするが、北朝鮮では夫の帰りを待ちながらヨンハが静かに息を引き取る。孤児となってしまったジュニは、父との再会を信じて国境を目指すが……。

【関連事情】

△1995年頃、過酷な食糧危機

△2003年、300~400万人飢餓・栄養失調

△脱北者、中国と周辺国に約30万人

(韓国には約2万人が辿り着いている)

△2002年、中国の瀋陽日本領事館に、脱北者の両親と幼い少女を含む5人が駆け込もうとし、中国人警官によって引きずりだされる。

△映画は、「北京駐在スペイン大使館進入事件」(2002年3月、脱北者25名がスペイン大使館に駆け込んで韓国亡命に成功した)をモチーフに製作。



「裸足の夢」(121分)

“A Barefoot Dream (맨발의 꿈)”

韓国、2010年

キム・テギョン (김태균) 監督

www.film.witheastasia.org/dream



史上初の国連での試写会が行われた映画「裸足の夢」。



この子供たちと一緒に、最後まで夢を追いかけてみたい！

実話に基づいた本作品は、長い内戦の傷跡が残る東ティモールで、裸足でサッカーをしている子どもたちを見つけた元プロサッカー選手の韓国人のキム・ウォンガン(パク・ヒスン)が、子供たちの無邪気な笑顔に惹かれてサッカーチームの指導をすることになるストーリー。



地元のサッカー協会や子どもたちの親からの妨害を受けながらも、キムと子どもたちは少年サッカー国際大会への出場を実現させる。韓国人のキム・ウォンガンと、東ティモールの子供たちの奇跡のような物語。

【シネマトーク ①】

THEME : 東アジア共生と協同組合



リュ・ジヨル(류지열) PD

韓国放送公社(KBS)
プロデューサー
1992年、成均館大学(韓国)
政治外交学科卒業

【主要作品】

- ・『戦争その後の50年、再び6月に』（2000）
：映画「ブラザーフット」の原作ドキュメンタリー
- ・『KAL858のミステリ（2部作）』（2005）
- ・『スペイン モンドラゴンの真実』（2011）
- ・『雙龍自動車の多量解雇その後2年：心理治療8週の記録』（2011）
- ・韓国PD大賞受賞（2011）

PANEL : 金 鉉東（社会的企業「バリの夢」代表：韓国）

佐々木 郁江（グリーンコープ生協くまもと福祉委員長）

【社会的企業「バリの夢」】

「バリの夢」はロシア沿海州の東北アジア平和基金が支援する社会的企業。沿海州に住む高麗人の農業定着への支援活動と東アジア共生の協同組合ネットワークを目指すソーシャルビジネスである。

漂流し続けるロシアの少数民族「高麗人」が東アジアの「バリデギ神話」に出てくる現代社会の「バリ」となり、良質な食糧や食品を生産し続けることで東アジア共生の新しい希望を作り出している。



- 2004.10. 沿海州のウジョン村でビニールハウス農業の支援を始める。
- 2007.09. 沿海州スンヤセンの示範農場内で毎月 5 トンの生産規模の清麴醬(チョングクジャン)加工場を設立。
- 2007.12. 韓国労働部で「社会的企業」と認定される。
- 2011.10. 沿海州スンヤセンで年間 100 トン規模の「清麴醬」加工場を竣工。



【シネマトーク ②】

THEME : 台湾・フィリピン・東アジアの多文化共生



横澤 泰夫 先生

京都生まれ
熊本学園大学教員
NPO法人東アジア共生文化センター理事

【経歴】

- ・東京外国語大学 中国語学科卒
- ・前 熊本学園大学 東アジア学科 教授
- ・前 NHK報道局外信部記者・香港駐在特派員
- ・『嵐を生きた中国知識人』（2007年・集広舎：翻訳）、『台湾史小辞典』（2007年・中国書店：編訳）、『私には敵はいないの思想』（2009年・藤原書店：共訳著）等

PANEL : 東 アンナマリエ ニヒト (在住熊本フィリピン人)
王 一萍 (熊本学園大学 国際文化研究科大学院生・中国人留学生)

【フィリピン人会・熊本】 Filipino Organization in Kumamoto



2008年の12月に熊本に住んでいるフィリピン人の為に会を作りました。正規名称はフィリピン人会・熊本ですが、頭文字をとって FOK にしました。熊本市内をはじめ阿蘇、天草、水俣、人吉にも地域担当者を置いて定期的に活動を行っています。

FOK の主な3つの目的は、一つ目は、在熊フィリピン人の為になる情報を大阪のフィリピン領事館と連携して、その情報の公開と伝達により、良い生活の環境の向上を図ることです。二つ目は国際結婚しているなかで生じる様々な問題点の相談にのり、そしてその問題の解決をはかることです。三つ目には県内各地に住んでいるフィリピン人がその地域に早く順応出来るように日本語教室を順次開設していきます。

今後の活動予定として、熊本県内での地域拠点の増加と年間恒例記念行事のクリスマス会を兼ねた総会の実施(12月23日)、来年(2013年)10月には熊本県内で第2回パスポート更新手続の実施の予定です。



5月のカトリック教会イベントに参加した子供(代表は松田アデラ)。

【シネマトーク ③】

THEME : 東アジア共生の現実と夢

キム・テギユン(김태균) 監督

1960年ソウル生まれ
 韓国外国語大学政治外交学科卒業
 韓国映画アカデミー4期生



【主要作品】

- ・『パク・ポンゴン家出事件』(1996)
- ・『ファースト・キス』(1998)
- ・『火山高』(2001)
- ・『オオカミの誘惑』(2004)
- ・『百万長者の初恋』(2006)
- ・『クロッシング』(2008)
- ・『彼岸島』(2009) ・『裸足の夢』(2011)

PANEL : 中地 重晴 (NPO 法人環境ネットワークくまもと理事
 ・熊本学園大学 社会福祉学部 教授)
 金 鉉東 (韓国の社会的企業「バリの夢」代表)

【環境ネットワークくまもと】

環境ネットワークくまもとは、持続可能な農の暮らしと健康な地域社会を実現するため、熊本県内外で環境保全活動に取り組む各団体・個人をゆるやかにネットワークし、情報交換や各団体の活動紹介を行い、市民に環境保全活動への参加と支援を呼びかけています。

市民による主体的な環境保全活動の拡大と、計画や政策の策定、実施、評価、見直しのすべての段階への市民参画のプロセスの確立を目指して活動します。

活動「3つの柱」

- ・環境保護に取り組む個人・NGO のネットワークの構築
- ・市民への環境問題の啓発活動
- ・行政・企業・NGO のパートナーシップの推進



「日韓青少年環境教育エコキャンプ」と「市民共同太陽光発電所」第1号機。

第1回「東アジア移住・共生映画上映会」

【日時】2007年7月7日(土)

【場所】熊本学園大学図書館 AV ホール

【上映作品】

- ・「輸入お嫁さん」、56分、Chung-Lung Tsai、2004、台湾、DV
- ・「動物農場」、3分、クオン・オソン、2005、韓国、クレイアニメ
- ・「自転車旅行」、10分、イ・ソンガン、2005、韓国、シエルアニメ
- ・「ウディンのストレス」、4.5分、Roches TKI、2004、韓国、Music Video
- ・「ミックスランゲージ」、3分、Mixrice、2004、韓国、Music Video
- ・「無境界線への夢」、25分、申明直、2003、日本、DV
- ・「ボーダレス」、25分、Min-Sook Lee、2006、カナダ、DV
- ・「カリベガス」、19分、キム・ソンミン、2005、韓国、16mm

【ゲスト】キム・ソンミン監督

第2回「東アジア移住共生映画祭」

【日時】2009年6月27日(土)～28日(日)

【場所】熊本学園大学高橋守雄ホール

【上映作品】

- ・「Ghosts」、96分、ニック・ブルームフィールド、2006、中国、DV
- ・「B.A.T.A.M.」、33分、リアム・ダンゼル他、2005、インドネシア、DV
- ・「潜水王ムハマド」、16分、チョン・ユンチョル、2006、韓国、DV
- ・「ブラジルから来たおじいちゃん」、59分、栗原奈名子、日本、DV
- ・「ウェディングキャンペーン」、120分、ファン・ビョングク、2005、韓国、DV
- ・「The Returnee」、25分、マブブ・アロム、2009、バングラデシュ、DV
- ・「グッドバイ・テロリスト」、37分、ホン・スンヒョン、2007、韓国、DV
- ・「シャバンシャバンシャララ」、17分、クオンミジョン、2007、韓国、アニメ
- ・「セリとハル」、91分、チャン・スヨン、2007、韓国、DV
- ・「恋するトマト」、126分、南部英夫、2005、日本、DVD
- ・「給料日(Pay Day)」4分、ミノド・モクタン、2007、韓国、Music Video

【ゲスト】ファン・ビョングク監督、南部英夫監督、マブブ・アロム監督、モク・ヘジョン

第3回「東アジア移住共生映画祭 2010」

【日時】2010年6月26・27日(熊本)、7月3・4日(北九州)、9月5日(沿海州)

【場所】熊本学園大学、九州国際大学・北九州市立大学、ウスリスク高麗人文化センター

【上映作品】

- ・「女工哀歌」、88分、ミカ・X・ベレド、2005、アメリカ・中国、DVD
- ・「帰郷(1) 終わらない流浪」、55分、バン・ソングン、2007、韓国・ロシア、DV
- ・「Made in L.A.」、70分、アルムデラ・カラセード、2007、アメリカ、DV
- ・「ロニーを探して」、92分、シム・サングク、2009、韓国、DV
- ・「ヴィットリオ広場のオーケストラ」、93分、アゴスティーノ、2006、イタリア、DV
- ・「さよならわが息子」、15分、ヒシャーム・ザマー、2005、ノルウェー、DV
- ・「Maid for Sale」、53分、ディマ・アル・ジョンディ、2006、レバノン、DV
- ・「走るチャウン」、35分、キム・テヨン、2008、韓国、DV
- ・「ナターシャ」、31分、キム・ジュリ、2008、韓国、DV
- ・「ヒジャーブ」、8分、ハビ・サラ、2005、スペイン、DV
- ・「125 チョン・スンチョル」、21分、バク・ジョンボム、2008、韓国、DV

【ゲスト】楊逸(小説家)、キム・テヨン監督

第4回「東アジア市民共生映画祭 2011」

【日時】2011年11月19日(熊本)、11月23日(福岡)、11月26日(釜山)

【場所】熊本学園大学学生会館ホール、九州大学国際ホール、東亜大学校ギョンドンホール

【上映作品】

- ・「レオニーズ物語」、19分、Rainer Ludwigs、2011、ドイツ/ウクライナ、アニメ
- ・「ソーラータクシーで世界一周を」、68分、Erik Schmitt、2010、ドイツ、DV
- ・「バンガバンガ」、110分、ユク・サンヒョ、2010、韓国、DV
- ・「東京原発」、110分、山川元、2002、日本、DVD

【ゲスト】ユク・サンヒョ監督、Khan Mohammad Asaduzzman(俳優)

祝! 東アジア市民共生映画祭 2012



every one

エブリワン



Convenience & Comfort
ココストア

食品産業のパイ役 繁栄の使徒

「食の未来を創造すること、
それが私たちの願いです。」



marubishi
Enjoy Food Business

第23回 食品機械 & 原材料 総合展 2012



EACCF2012

東アジア市民共生映画祭 2012